

オウサマペンギンのヒナが元気に大きく育っています

海遊館（大阪市港区）の「南極大陸」水槽では、オウサマペンギンのヒナ（幼鳥）が元気に成長しています。現在、ふわふわした茶色い綿羽（めんう）に包まれた、丸くて特徴的な姿をご覧くださいことができます。



（手前）元気に成長しているオウサマペンギンのヒナ（幼鳥、生後5カ月目）
（奥）オウサマペンギンの成鳥

海遊館では1990年の開館以来、オウサマペンギンを飼育展示しており、1994年に初めて繁殖に成功しました。その後も、健康管理と繁殖研究を推進した結果、今回のヒナは45羽目となります。今後も飼育展示を継続しながら、まだ不明な点が多いオウサマペンギンの繁殖生態の解明や、種の保存に貢献してまいります。尚、「南極大陸」水槽は、約5カ月間の大規模リフレッシュ工事を終え、2019年3月29（金）より一般公開しています。氷の大陸と青い海氷の世界を再現し、自然環境の美しさとそこに棲むペンギンたちの躍動を感じていただけたらと考えています。

取材のご案内

「南極大陸」水槽内で、オウサマペンギンのヒナの体重測定の様子を撮影していただけます。

ご希望の方は、撮影希望日の前日までに海遊館広報チームまでご連絡ください。

尚、スペースの都合上、撮影の際は人数の制限などがございます。予めご了承ください。

海遊館広報チーム 06-6576-5529

1. ヒナについて

産 卵 日：2018年8月26日（日） ※卵の長径103.6mm、短径71mm、重量284g

ふ 化 日：2018年10月22日（月） ※体長約10cm（目測）、体重218.2g

雛の大きさ：体長約80cm（目測）、体重10,980g（4月18日現在）

2. オウサマペンギンについて

和名：オウサマペンギン（ペンギン科） 英名：King penguin 学名：*Aptenodytes patagonicus*

南極大陸周辺の島に生息し体長約90cm、体重約12kg。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

ふ化後約1ヵ月で体重約2kg、2ヵ月で体重約7kg。生まれてからおよそ6ヵ月後には親鳥とほぼ同じ大きさになる。生後8ヵ月頃に茶色い綿羽が抜け落ち、親と同じ模様になる。